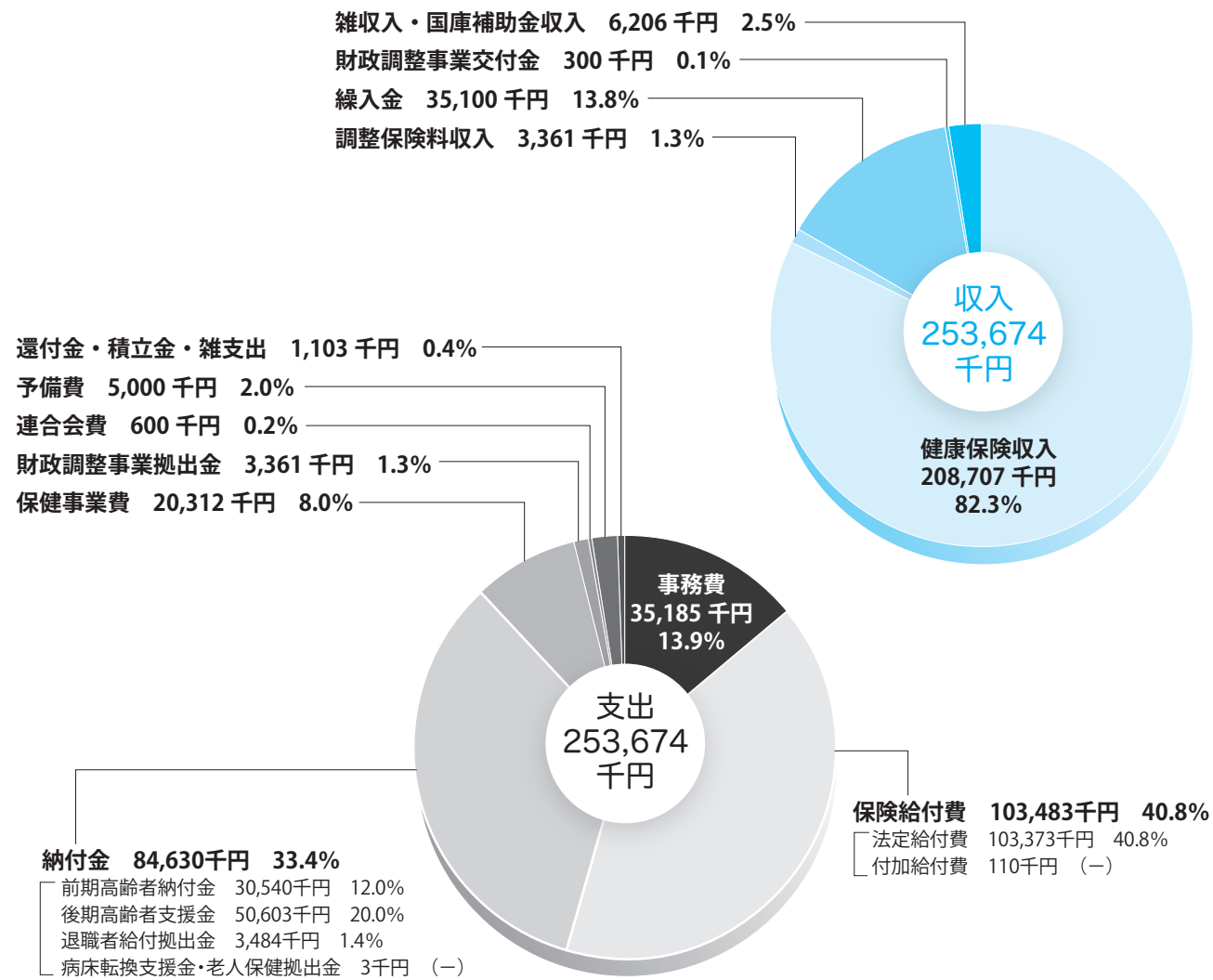


収支の割合



平成28年度予算と事業計画決まる 5年連続の赤字予算に

去る2月26日に開催された組合会において、
当健保組合の28年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、
そのあらましをお知らせします。

収入

28年度の予算総額は2億5367万4千円です。これは前年度より2549万5千円少ない額です。

収入のおよそ80%が事業主とみなさんから納めていただく保険料（調整保険料除く。国庫負担金収入含む）です。前年度より521万1千円少ない2億863万5千円を見込んでいます。

また、増大する支出に対応するために、積立金を取り崩して3510万円を繰り入れました。

支出

支出の40・8%は、みなさんやご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費です。前年度より473万4千円少ない1億348万円3千円を計上しています。

また、健康保険組合は高齢者医療制度を財政的に支えるために後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等を負担しており、これら他制度への28年度の納付金

は前年度より2392万5千円少ない8463万円です。前年度より減少しましたが、それでも支出全体の33・4%を占め、依然として大きな財政的負担となっています。みなさんの健康づくりをサポートするための事業として、保健事業費に前年度より424万2千円多い2031万2千円を計上しております。今年度も、健診および保健指導を実施して、加入者のみなさまの健康管理をサポートしてまいります。早い段階で生活習慣病の兆候を見つけ出すと同時に、保健指導を通して病気の重症化を予防することを目指します。

健診は定期的に受けることで、データを蓄積して分析することができます。みなさんにおかれましては、ご自分が対象となる各種健診や人間ドックを積極的に受けていただくよう、お願い申し上げます。

以上の結果、28年度は経常収支では3041万2千円の赤字となりました。昨年5月には「医療保険制度改革関連法」が成立しました。しかし、その内容は自営業者の方などが加入する国民健康保険の財政基盤安定化を図る内容が大半であり、健康保険組合にとっては改革というには不十分な改正でした。

みなさんにおかれましては、引き続き健康的な生活習慣をとおして、病気のリスクを低下させるよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

健康づくりのお手伝い

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。
健診など、以下の事業を積極的にご活用ください。

保健・衛生知識の普及のために

- ホームページの開設
- 医療費通知（3カ月ごと）
- 保健図書配布（新人対象）

病気の予防のために

- 特定健診・人間ドック
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に年1回実施
- 特定保健指導
対象者に実施
- 生活習慣病
被保険者・被扶養者全員を対象に実施
- インフルエンザ予防接種費用補助
年1回（1500円を補助）
- 家庭用常備薬の斡旋
年1回（1500円を補助）

リフレッシュのために

- 契約保養所の利用補助
被保険者および被扶養者を対象に年間2泊まで、1泊につき4千円を限度に補助

平成28年度